

**問** 戦後80年の節目、笹本市長の平和への考え方・取り組みについて伺う。

**答** 平和の礎となるのは、平和を愛し心豊かでたくましい人を育む教育にあると考える。市民生活を豊かなものとし、平和社会の実現を図る。



**第7次鹿角市総合計画後期基本計画とまちづくりについて**

**問** 総合計画とコンパクトシティ構想がまちづくりのソフトとハードの両輪として機能すべきではないか。

**答** 第7次総合計画に「コンパクト・プラス・ネットワーク型都市の構築」として位置づけ、人口規模に見合うよう、スピード感を持って施設の再編・配置の見直しを進める。市全体としての利便性と持続可能性を確保し、将来世代に責任

を果たす都市経営を力強く推進する。

**給食における地場産品の使用状況等について**

**問** 地元食材の積極的な使用は食育や地産地消の推進に加え、食材費の高騰対策としても有効と考えるが、市の今後の方針は。

**答** 地場産品活用率は県内で3番目に高く、地産地消と結びついた食育の推進にも取り組んでいる。昨今の物価高騰の影響は受けているが、「みどりの食料連絡会」から地元産の新鮮な野菜等を良質な価格で提供いただいている。会員の減少や高齢化の進展もあり、今後は供給量の減少が懸念され、供給体制維持が課題である。

質問した項目

- 平和な世界を希求・堅持する地方からの取り組みについて
- 第7次総合計画後期基本計画とまちづくりについて
- 物価高騰対策及び地場産品等について
- ほか

佐藤 大介 議員 (鹿真会・公明)

質問時間 30分



録画配信はこちらから

**問** 除雪作業の負担軽減のため、路線見直しや日中迂回路がある場合や空き家のみの路線廃止、日中除雪を実施する等様々な手段を検討する。

**答** 除雪作業の負担軽減のため、路線見直しや日中迂回路がある場合や空き家のみの路線廃止、日中除雪を実施する等様々な手段を検討する。



**将来を見据えた地域づくりについて**

**問** 本市の人口減少・働き手不足は既に深刻な段階にある。市が担える業務が縮小する中、今後行政サービスをどう維持していくのか、市の目指す姿や方向性を伺う。

**答** 第7次総合計画後期基本計画で行政サービスの持続可能とするための基本方針を策定中である。また、市民の協力も不可欠であり、行政サービスの代替や補完を含め、本市のまちづくりの理念

質問した項目

- 将来を見据えた地域づくりについて
- 除雪作業の体制変更について
- 有害鳥獣対策について
- 農業支援について
- ほか

網木 裕一 議員 (新時代かつの)

質問時間 45分

である市民・団体・企業との共動により課題解決に取り組んでいく。

**少年議会の創設について**

**問** 少年議会は将来の担い手育成につながる未来への投資と考えるが、市の検討状況や方向性を伺う。

**答** 少年議会は地域課題を自分事として捉え、行動し、公共の意思決定に関与できる貴重な場として、子供たちの成長に大いに資すると考える。現在、本市に適した事業モデルを検討中であり、若者が主体的に政策提案し、その成果を実感できる仕組みを目指し、市民理解の醸成を図りながら次年度の事業化に向け、取り組む。



録画配信はこちらから